

A 問題

1. My father gave up () for health reasons.

- ① smoked ② smoking ③ to smoke ④ to smoking

解答：② smoking

解説：

「give up ～ing」で「～するのをやめる」という意味。

動詞のあとに動名詞（～ing 形）が続く形です。

→「父は健康上の理由でたばこをやめた」

他の選択肢の誤り：

①③④はいずれも「give up」とは組み合わせられない。

2. I fixed the vase () by Ken.

- ① break ② breaking ③ broke ④ broken

解答：④ broken

解説：

「the vase broken by Ken」は「ケンによって壊された花瓶」という受け身の意味。

「broken」は「break（壊す）」の過去分詞形。

→「私はケンに壊された花瓶を直した。」

3. Let's wait here () tomorrow.

- ① by ② in ③ since ④ until

解答：④ until

解説：

「until」は「～までずっと」という意味。

→「明日までここで待とう。」

by は「～までに」（期限）なので×。

4. My train left Kyoto at six, () in Tokyo at nine.

- ① and arrives ② arrive ③ arriving ④ by arriving

解答：③ arriving

解説：

分詞構文の形。「京都を6時に出て、9時に東京に着く」という2つの動作が続く。

「～して」という意味で現在分詞「arriving」を使う。

→「列車は6時に京都を出発し、9時に東京に着く。」

5. He was very () to hear from her again.

- ① excite ② excited ③ excitement ④ exciting

解答：② excited

解説：

「人が感情を感じる」場合は「excited」を使う。

「exciting」は「物や出来事がわくわくさせる」側。

→「彼は彼女からまた便りをもらってとても興奮した。」

6. She was very hungry, but there was () food in the refrigerator.

① few ② little ③ many ④ much

解答：② little

解説：

「food」は数えられない名詞 → few は使えない。

「a little」は少しある、「little」はほとんどない。

→「お腹が空いていたが、冷蔵庫にはほとんど食べ物がなかった。」

7. Tom was poor, () his elder brother Ken was very rich.

① because ② since ③ unless ④ while

解答：④ while

解説：

「while」は「～だが一方で」という対比の接続詞。

→「トムは貧しかったが、一方で兄のケンはとても裕福だった。」

8. () surprised me most was a huge rock.

① That ② This ③ What ④ Which

解答：③ What

解説：

「What surprised me most」は「私をいちばん驚かせたこと」。

「What = the thing which」と考えるとわかりやすい。

→「私を最も驚かせたのは巨大な岩だった。」

9. Can you remember where () the key?

① did you put ② do you put ③ were you put ④ you put

解答：④ you put

解説：

疑問詞が文中に入ると語順は「主語＋動詞」。

→「あなたが鍵をどこに置いたか覚えていますか？」

直接疑問文なら「Where did you put...?」になるが、ここでは間接疑問文。

10. “() is this dictionary?” “It is Ben’s.”

① What ② Which ③ Whose ④ Whom

解答：③ Whose

解説：

「Whose＋名詞」で「誰の～」を尋ねる。

→「これは誰の辞書ですか？」－「ベンのです。」

11. A () is a son of one's brother or sister.

① cousin ② nephew ③ niece ④ sibling

解答：② nephew

解説：

「nephew」は「おい（兄弟姉妹の息子）」

→「兄弟姉妹の息子のことを nephew という。」

12. The hotel () he stayed at was luxurious.

① what ② where ③ which ④ why

解答：③ which

解説：

「先行詞＋関係代名詞」で「彼が泊まったホテル」。

→「彼が泊まったホテルは豪華だった。」

「where」は前置詞「at」があるので不可。

13. I don't know () I should go or not.

① because ② that ③ though ④ whether

解答：④ whether

解説：

「～かどうか」は「whether（または if）」を使う。

→「行くべきかどうかわからない。」

14. The train was very () with students this morning.

① crowded ② filling ③ full ④ packing

解答：① crowded

解説：

「crowded with～」＝「～で混雑している」。

→「今朝の電車は学生でとても混んでいた。」

15. Japan has one twenty-fifth of the land area of the United States. (), it is about the size of California.

① As a result ② For example ③ In other words ④ On the other hand

解答：③ In other words

解説：

「In other words」は「言い換えれば」。

→「日本の面積はアメリカの25分の1、つまりカリフォルニア州くらいの大きさです。」

16. He () in Tokyo for the last three years.

① had lived ② has lived ③ lived ④ lives

解答：② has lived

解説：

「for the last three years (過去から今まで)」→現在完了形。

→「彼は過去3年間ずっと東京に住んでいる。」

17. You () to finish your homework before Christmas.

① has ② must ③ ought ④ should

解答：③ ought

解説：

「ought to ～」＝「～すべきだ」。

→「クリスマス前に宿題を終えるべきだ。」

18. He was named William () his grandfather.

① after ② in ③ through ④ with

解答：① after

解説：

「be named after ～」＝「～にちなんで名付けられる」。

→「彼は祖父にちなんでウィリアムと名付けられた。」

19. We must help () who are in trouble.

① anyone ② someone ③ these ④ those

解答：④ those

解説：

「those who～」で「～する人々」という意味。

→「困っている人たちを助けなければならない。」

20. What do you say () out tonight?

① eat ② eating ③ to eat ④ to eating

解答：④ to eating

解説：

「What do you say to ～ing?」＝「～するのはどう？」の決まり文句。

→「今夜外食するのはどう？」

「to」は前置詞なので動名詞(～ing)が続く。

B 問題

1. 君に賛成する人もいれば、反対する人もいる。

() agree with you; () disagree.

解答：Some / others

解説：

- ・「Some ～; others …」＝『～する人もいれば、…する人もいる』という対比の表現。
- ・「some people agree with you; other people disagree」を短くした形で、“people”を繰り返さないのがポイント。
- ・「agree with you」は「君に賛成する」。「disagree」はその反対で「反対する」。

💡覚え方のコツ：

「some～others…」＝「～な人もいれば…な人もいる」

(例) Some like dogs; others like cats. (犬が好きな人もいれば、猫が好きな人もいる)

2. ルーシーは私の2倍お金を稼ぐ。

Lucy makes () as () money as I do.

解答：twice / much

解説：

- ・「twice as ～ as …」＝『…の2倍～』という倍数表現。
- ・「money」は**数えられない名詞（不可算名詞）**だから「much」を使う。
- ・「as ～ as …」は「…と同じくらい～」という比較の形。

→ 「twice as much money as I do」で「私の2倍のお金を稼ぐ」。

💡覚え方のコツ：

数えられない名詞には **much**、数えられる名詞には **many**。

(例) twice as **many books** as I have. / twice as **much money** as I have.

3. 井上は世界で一番強いボクサーだ。

Inoue is () () any other boxer in the world.

解答：stronger / than

解説：

- ・「比較級＋than any other ～」＝『他のどの～よりも…』
→ 最上級（the＋形容詞のest）と同じ意味。
- ・「stronger than any other boxer」＝「他のどのボクサーよりも強い」。
- ・「the strongest boxer」とも言い換えできる。

💡覚え方のコツ：

「比較級＋than any other」で「最上級」と同じ意味になる！

(例) He runs faster than any other student. = He is the fastest student.

4. 子どもたちがマンガを読むのが好きなのは当然だと思う。

I think () natural () children like to read comic books.

解答：it / that

解説：

- ・**「I think it 形容詞 that ～」＝『～なのは（形容詞）だと思う』**の形。
- ・it は「仮の主語（形式主語）」で、**本当の主語は that 節**。
- ・「it natural that children like to read comic books」＝「子どもがマンガを読むのは自然だ」。

💡覚え方のコツ：

「I think it important that…」 「I think it strange that…」なども同じ形。

(例) I think it important that we study English. (英語を勉強するのは大切だと思う)

5. 私は日本料理だけでなく中華料理も好きだ。

I like not () Japanese food () also Chinese food.

解答：only / but

解説：

- ・「not only A but also B」 = 『A だけでなく B も』というよく出る熟語。
- ・「not A but B (A ではなく B)」と混同しないよう注意。
- ・「only」は副詞、「but also」で「さらに～も」と続く。

→ 「日本料理だけでなく中華料理も好きだ」という意味になる。

💡覚え方のコツ：

「not only A but also B」は暗記必須。

(例) She speaks not only English but also French. (彼女は英語だけでなくフランス語も話す)

✳全体まとめ

文法項目	重要表現	意味
1	Some ～; others …	～する人もいれば…する人もいる
2	twice as ～ as …	…の 2 倍～
3	比較級 + than any other ～	最上級と同じ意味
4	It is 形容詞 that …	～なのは (形容詞) だ
5	not only A but also B	A だけでなく B も

C 問題

1.

(ア) This river is too wide for us to swim across.

(イ) This river is (①) wide (②) we can't swim across it.

解答：① so / ② that

解説：

- ・「too～to…」 = 「～すぎて…できない」
- ・同じ意味を作るには **so～that…** 構文を使う。
→ 「…なので～できない」という意味になる。
- ・この場合「so wide that we can't swim across it」 = 「広すぎて泳いで渡れない」。

【文法ポイント】

too～to＝so～that…can't は頻出表現。

例：He is too tired to study.

= He is **so tired that he can't study**. (疲れすぎて勉強できない)

2.

(ア) We called off the picnic because of the bad weather.

(イ) The bad weather (①) (②) call off the picnic.

解答：① made / ② us

解説：

- ・「make + 人 + 動詞の原形」 = 「人に～させる」。
- ・「The bad weather made us call off the picnic」 = 「悪天候のせいでピクニックを中止せざるを得なかった」。

【文法ポイント】

「make 人 動詞の原形」＝「人に～させる」。

例：My mother made me clean my room. (母は私に部屋を掃除させた)

3.

(ア) No other mountain is as high as Mt. Everest.

(イ) Mt. Everest is the (①)(②) in the world.

解答：① **highest** / ② **mountain**

解説：

・「No other A is as～as B.」＝「B は他のどの A よりも～だ」→最上級で書き換え可。

・「the highest mountain」＝「最も高い山」。

→「エベレスト山は世界で一番高い山だ。」

【文法ポイント】

No other A is as ～ as B. = B is the ～est A.

例：No other city is as large as Tokyo.

= Tokyo is the **largest city** in Japan.

4.

(ア) His father gave Tom the book for his birthday.

(イ) The book (①)(②) to Tom by his father.

解答：① **was** / ② **given**

解説：

・「give (与える)」を**受け身 (be 動詞+過去分詞) **に直す。

・「was given」＝「与えられた」。

→「その本は彼の父によってトムに与えられた。」

【文法ポイント】

能動：His father gave Tom the book.

受動：The book **was given** to Tom by his father.

(主語を入れ替えても意味を保つ)

5.

(ア) Do you want me to help you with your homework?

(イ) (①)(②) help you with your homework?

解答：① **Can** / ② **I**

解説：

・「Do you want me to ～?」は「私が～しましょうか?」の丁寧な表現。

・それを簡単に言うと **Can I ～?** または **Shall I ～?**。

→「宿題を手伝いましょうか?」の意味になる。

【文法ポイント】

・**Can I ～?**＝「～してもいいですか?」「～しましょうか?」

・**Shall I ～?**＝「(申し出) ～しましょうか?」

どちらも相手への親切な申し出に使える。

◆まとめ（重要構文一覧）

No	文法項目	重要表現	意味
1	so～that…	so + 形容詞 + that + S + can't…	～すぎて…できない
2	make 人 動詞原形	make + 人 + 動詞原形	人に～させる
3	最上級表現	the + 形容詞 est + 名詞	最も～な…
4	受け身	be + 過去分詞	～される
5	丁寧な申し出	Can I ～? / Shall I ～?	～しましょうか？

D 問題

1.

A: I don't think I can play basketball with you tonight.

B: ()

A: My mother has been sick since last week.

B: That's too bad. I hope she'll get well soon.

解答：① **Why not?**

和訳：

A：今夜、一緒にバスケできそうにないんだ。

B：なんで？

A：母が先週からずっと病気でね。

B：それは大変だね。早く良くなるといいね。

解説：

- ・「Why not?」は「どうしてダメなの?」という意味の自然な質問。
- ・Aが「できない」と言った理由を尋ねるときにぴったり。
- ・②「When did you go? (いつ行ったの?)」③「Who was that? (誰だった?)」④「How is she? (彼女の具合は?)」は、会話の順番に合わない。

【文法ポイント】

- ・ **Why not?** = Why can't you? の省略。

(例) Let's go out. — Why not? (出かけようよ。— いいね!)

2.

A: What shall we do for lunch this afternoon?

B: How about trying that new Italian restaurant?

A: () Let's have Japanese.

B: Again? You always want Japanese noodles!

解答：② **I don't feel like Italian food.**

和訳：

A：今日の昼ごはん、どうしようか？

B：あの新しいイタリアンレストランはどう？

A: **イタリアンな気分じゃないな。**日本食にしよう。

B: また？君はいつも日本そばが食べたいんだね！

解説：

- ・「don't feel like 〜」は「〜する気がしない」「〜の気分じゃない」。
- ・会話の流れ的に、イタリアンを提案された後に「イタリアンは気分じゃない」が自然。

【文法ポイント】

- ・ **feel like 〜ing／名詞**：〜したい気分だ
(例) I feel like eating sushi. (寿司が食べたい気分)

3.

A: I want you to come to my new apartment for dinner some evening next week.

B: ()

A: What day would be the best evening for you?

B: Well, let's see. How about Friday evening?

解答：② I'd love to. How nice of you.

和訳：

A: 来週のどこかの夜、僕の新しいアパートに夕食に来てほしいんだ。

B: ぜひ行きたいわ。ご招待ありがとうございます。

A: 君にとって一番都合のいい日はいつ？

B: そうね、金曜の夜はどう？

解説：

- ・「I'd love to.」＝「ぜひそうしたいです！」という**快い返事**。
- ・「How nice of you.」＝「ご親切にありがとう」。
- ・招待に対する自然な応答。

【文法ポイント】

- ・ **would like to／would love to**＝「〜したい」(丁寧・柔らかい表現)
(例) I'd love to see you again. (また会いたいです)

4.

A: I have two tickets for the classical music concert. Would you like to go with me?

B: Sure. I love classical music. Thank you for inviting me.

A: It's my pleasure. ()

B: Yes. That'll be fine.

解答：④ Shall I pick you up here about seven?

和訳：

A: クラシックコンサートのチケットが2枚あるんだけど、一緒に行かない？

B: もちろん。クラシック大好き。誘ってくれてありがとう。

A: どういたしまして。7時ごろ迎えに来ようか？

B: うん、それでいいよ。

解説：

- ・「Shall I〜？」は**申し出**や**提案**を表す。
- ・コンサートに一緒に行く流れから「迎えに行こうか？」が最も自然。

- ・①～③は会話の展開に合わない。

【文法ポイント】

- ・ **Shall I～?** = 「～しましょうか？」(申し出)
(例) Shall I help you? (手伝いましょうか?)

5.

A: Mom, do you know where my pencase is?

B: ()

A: Oh, did I? I can't find it now.

B: Maybe you took it out of your bag at the library.

解答：① **You said you had it in your bag.**

和訳：

A：お母さん、筆箱どこか知らない？

B：バッグに入ってるって言ってたじゃない。

A：あ、そうだった？でも今見つからないの。

B：図書館でカバンから出したんじゃない？

解説：

- ・Aの「あ、そうだった？」という反応から、「前に言ってたよ」という返しが自然。
- ・②～④は文脈に合わない。

【文法ポイント】

- ・ **You said you had it.** = 「～を持っていたって言ったじゃない」
→ **had** は「過去の所有」を表す過去完了形。

✿まとめ（重要表現一覧）

No	重要表現	意味	用途
1	Why not?	どうしてダメなの？	理由を尋ねる・軽い反対
2	don't feel like ～ing	～する気がしない	気分を表す表現
3	I'd love to.	ぜひ行きたい	招待への快い返事
4	Shall I ～?	～しましょうか？	提案・申し出
5	You said you had ～.	～を持っていたって言ってたよね	会話での指摘・確認

E 問題

📖 英文和訳

【段落①】

私は4人の小さな子どもを育てるひとり親で、最低賃金の仕事をしていた。

お金はいつもきつかったが、私たちには屋根のある家があり、食卓には食べ物があり、背中には服があった。多くはなくても、いつも十分に足りていた。

子どもたちは、あのこと自分たちが貧しかったとは知らなかったと言っていた。

彼らはただ「お母さんはケチだ」と思っただけだった。

私はずっとそのことをうれしく思っている。

【段落②】

クリスマスの時期だった。

たくさんの贈り物を買うお金はなかったけれど、

私たちは教会や家族、パーティーや友人たちと祝う計画を立て、

街に出てクリスマスの明かりを見たり、特別な食事をしたり、家を飾ったりして過ごそうとしていた。

【段落③】

けれど、子どもたちにとって一番の楽しみはショッピングモールでのクリスマスの買い物だった。

彼らは何週間も前からわくわくして計画を立て、

お互いに、そして祖父母に「クリスマスに何が欲しい？」と聞き合っていた。

私はそのことを思うと気が重かった。

私は120ドルを貯めていて、それを私たち5人で分けて使うつもりだった。

【段落④】

いよいよその日がやってきて、私たちは朝早く出かけた。

私は4人の子どもそれぞれに20ドル札を1枚ずつ渡し、

「1人あたり4ドルくらいのプレゼントを探すのよ」と言い聞かせた。

それからみんなばらばらに散っていった。

買い物の時間は2時間で、そのあと「サンタの工房」の飾りの前で会うことにしていた。

【段落⑤】

帰りの車の中では、みんなクリスマスの雰囲気にもまれて、

笑いながらお互いをからかい合い、何を買ったのかヒントを出し合っていた。

8歳くらいの下の子は、いつもと違って静かだった。

私は、彼女が買い物を終えたあと、小さな平らな袋をひとつだけ持っているのに気づいた。

袋の中が少し透けて見えたので、チョコレートバーを買ったのだとわかった。

それも1本50セントのチョコバーだった。

私はとても腹が立った。

「渡した20ドル札はどうしたの？」

怒鳴りたかったけれど、家に着くまで何も言わなかった。

家に帰ると、リサを寝室に呼び、ドアを閉めて、

「お金をどうしたの？」ともう一度怒るつもりで聞いた。

彼女はこう話した。

【段落⑥】

「何を買おうか考えながら歩いていたとき、救世軍の“ギビング・ツリー”にかかっていた小さなカードを読んだの。

そのカードには、4歳の女の子のことが書かれていて、

クリスマスには服とヘアブラシのついた人形が欲しいって書いてあったの。

だから私はそのカードを木から取って、その子のために人形とヘアブラシを買って、救世軍のブースに持って行

ったの。」

【段落⑦】

「それで残ったお金では、私たちの分のチョコバーを買うしかできなかったの。」とリサは続けた。
「でも、私たちはたくさん持ってるけど、あの子は何も持っていないんだもん。」

【段落⑧】

あの日ほど豊かな気持ちになったことはなかった。
そう、これがクリスマスなのだ。

💡和訳のポイント

英文表現	解説
a single parent of four small children	「4人の小さな子を育てるひとり親」。 single parent =片親。
working at a minimum-wage job	「最低賃金の仕事をしている」。日本語の「時給最低」レベルのニュアンス。
Money was tight	「お金に余裕がない」。 tight ＝“びったり・きつい”→比喩表現。
roof over our heads	「住む家（屋根）」という慣用句。
They just thought Mom was cheap.	cheap ＝「安っぽい」ではなく「ケチな」の意味。
I dreaded it.	dread ＝「～をひどく恐れる／気が重い」。ネガティブな予感。
remind 人 to～	「人に～するよう注意する・言い聞かせる」。例：Remind me to call him.（電話するのを忘れないように言って）
scatter	「散らばる」。人やものがバラバラに動く時に使う。
shopping spree	「買い物三昧」「爆買い」。 spree ＝はしゃぎながらやる行動。
I wanted to yell at her	yell at ＝「～に怒鳴る」。 at を忘れない。
Giving Tree	アメリカの慈善活動で、ツリーに「欲しいものが書かれたカード」が掛けられており、それを見た人が買って寄付する。
I never felt so rich as I did that day.	「as～as」の比較。直訳「その日ほど豊かに感じたことはない」＝「あの日ほど幸せに感じたことはない」。

🔍文法・構文で引っかかりやすいポイント

文法・構文	解説
if not a lot, always enough	「たくさんではないが、いつも十分だった」。“if not A, B”＝「AでないとしてもB」
I had saved \$120 for presents to be shared by all five of us.	「to be shared」は不定詞の形容詞用法。「5人で分け合うためのプレゼント」
ready to be angry again	「また怒る準備ができていた」＝“ready to”で「～するつもりでい

文法・構文	解説
	る」。
never felt so rich as～	比較構文。「～ほど豊かに感じたことはない」＝最上級の意味。

■重要単語まとめ

単語	意味
minimum wage	最低賃金
tight	余裕のない、きつい
roof over one's head	住む場所
cheap	ケチな
dread	～をひどく恐れる
remind	念を押す、思い出させる
scatter	散らばる
tease	からかう
spree	夢中でやること（買い物・飲食など）
Salvation Army	救世軍（キリスト教系慈善団体）
booth	屋台・ブース
rich（比喻）	豊か・幸せな気持ち

<<問題>>

【1】 The writer was a single parent of four kids, and (1)

（筆者は4人の子どもを育てるひとり親だったが、（ ））

解答：④ she didn't make much money, but there was always enough for all of them.

（たくさん稼いではいなかったが、家族全員がなんとか暮らせるだけはいつもあった。）

解説：

本文では「お金はいつもぎりぎりだったが、屋根のある家と食べ物、服があり、十分にやっていけた」と述べていた。

→「④ 少ししか稼げなかったが、みんなの分はいつも足りていた」が最も合う。

・②「子どもたちは貧しさを知らなかった」も事実だが、文全体のつながりとしては「収入が少ないがなんとか足りていた」というまとめが自然。

・①「子どもが貯金していた」や③「まったくお金がなかった」は本文と異なる。

【2】 How much money did the writer tell her kids to spend on gifts to give each other?

（筆者は、子どもたちにお互いへのプレゼントにいくら使うように言ったか？）

解答：① Four dollars.

（4ドル。）

解説：

本文では「1人に20ドルを渡し、『1人あたり4ドルくらいのプレゼントを選ぶのよ』と念を押した」とある。

→したがって正解は①。

- ・③の「20ドル」は渡した金額であり、使う金額ではない点に注意。

【3】 Back in the car driving home, why did the writer get angry?

(家へ帰る車の中で、筆者が怒ったのはなぜか?)

解答：② The writer didn't know how her daughter spent the money she'd been given.

(娘が渡したお金をどう使ったのかわからなかったから。)

解説：

車の中でリサの袋には安いチョコバーしか入っていなかった。

→筆者は「20ドル渡したのに、どう使ったのか?」と怒りを感じた。

- ・③の「人形とヘアブラシを買った」は後でわかることなので×。

【4】 Which is true about this story?

(この物語について正しいのはどれか?)

解答：③ It was not until they got home that the writer asked her daughter about the money she gave her.

(家に帰ってから初めて、筆者は娘にお金の使い道を聞いた。)

解説：

本文では「怒りたかったが、家に着くまで何も言わなかった」と明記されている。

→「家に帰ってから聞いた」が正解。

- ・①「友人と祝った」→友人は出てこない。
- ・②「祖父母と相談して買った」→娘は救世軍のカードを見て買っている。
- ・④「カードに使うお金が残らなかった」→意味が逆。

【5】 What would be the best title for this story?

(この物語に最もふさわしい題名はどれか?)

解答：② It is more blessed to give than to receive.

(受け取るより、与えるほうが幸せである。)

解説：

リサは自分のためではなく、貧しい子のために人形を買った。

その行動に母親は心を動かされ、「あの日ほど豊かに感じたことはなかった」と語っている。

→「与える喜び」がこの物語のテーマ。

- ・①「クリスマスにお金を使うのは無意味」は真逆。
- ・③「買い物中に寄付をすべき」は部分的。
- ・④「優しさは子どもにしかわからない言葉」は文意とずれる。

F 問題

【1】 向こうでギターを弾いている少女は私の妹です。

The () (2) () () (5) () () my sister.

[① the guitar ② there ③ playing ④ is ⑤ over ⑥ girl]

解答： 2 番目＝⑤、5 番目＝②

→ The girl playing the guitar over there is my sister.

解説：

- ・「～している○○」は **動詞の ing 形＋名詞** で表す。
→ playing the guitar は「ギターを弾いている」。
- ・ the girl playing the guitar（ギターを弾いている少女）が主語。
- ・「over there」＝「向こうに」
- ・動詞は「is」、最後に「my sister」で「～は私の妹です」。

語順の型：

the ＋ 名詞 ＋ 動詞 ing ＋ … ＋ is ＋ 名詞

注意ポイント：

「who is playing the guitar」を省略した形（関係代名詞の省略）。

【2】これは私が最も好きな映画です。

This is the ()(2)()()(5)()().

[① I ② best ③ the ④ like ⑤ movie ⑥ that]

解答： 2 番目＝⑥、5 番目＝③

→ This is the movie that I like the best.

解説：

- ・「～する○○」＝ **the＋名詞＋that＋S＋V**
→ the movie that I like（私が好きな映画）
- ・「the best」＝「最も～」で、文全体の「一番好きな映画」となる。

語順の型：

This is the ＋ 名詞 ＋ that ＋ S ＋ V ＋ the best

注意ポイント：

「like the best」で「一番好き」という表現。

「like most」でも同じ意味になるが、今回は the best に合わせる。

【3】彼はその問題が解けるほど賢い。

He ()(2)()()(5)()().

[① the problem ② solve ③ smart ④ to ⑤ enough ⑥ is]

解答： 2 番目＝③、5 番目＝②

→ He is smart enough to solve the problem.

解説：

- ・「～するほど～だ」＝ **形容詞 enough to 動詞**
→ smart enough to solve …（解けるほど賢い）
- ・ enough は形容詞のあとに置く。
- ・ to solve the problem＝「その問題を解くために」。

語順の型：

主語 ＋ be 動詞 ＋ 形容詞 ＋ enough ＋ to ＋ 動詞の原形

注意ポイント：

× enough smart は誤り（enough は必ず後ろに置く）。

【4】誰がそのレースに勝ったか知っていますか。

()(2)()()(5)()()?

[① won ② know ③ do ④ who ⑤ the race ⑥ you]

解答： 2 番目=⑥、5 番目=①

→ Do you know who won the race?

解説：

- ・「～か知っていますか？」 = Do you know + 疑問詞節
- ・「who won the race」 = 「誰がそのレースに勝ったか」
- ・間接疑問文では語順を普通の文の順番にする (who won)。

語順の型：

Do you know + 疑問詞 + 主語 + 動詞 ～？

注意ポイント：

× Do you know who did win the race? (この強調は不要)

【5】彼に彼女の言っていることが理解できなかった。

()(2)()()(5)()().

[① she ② he ③ said ④ understand ⑤ what ⑥ couldn't]

解答： 2 番目=⑥、5 番目=①

→ He couldn't understand what she said.

解説：

- ・「what + 主語 + 動詞」 = 「～すること (もの)」の名詞節。
→ what she said = 「彼女が言ったこと」
- ・「couldn't understand」 = 「理解できなかった」。

語順の型：

主語 + 助動詞 (couldn't) + 動詞の原形 + what + S + V

注意ポイント：

「what」は関係代名詞ではなく「名詞節を作る疑問詞」。

(=“the thing which” の意味)

✔ まとめ表 (完全版)

No	日本語	正答	文法ポイント	型のまとめ
1	向こうでギターを弾いている少女は私の妹です。	⑤ over / ② there	現在分詞の修飾 (関係代名詞省略)	the + 名詞 + Ving + …
2	これは私が最も好きな映画です。	⑥ that / ③ the	関係代名詞 that / 最上級表現	the + 名詞 + that + S + V + the best
3	彼はその問題が解けるほど賢い。	③ smart / ② solve	enough to 構文	be + 形容詞 + enough + to + 動詞
4	誰がそのレースに勝ったか知っていますか。	⑥ you / ① won	間接疑問文	Do you know + wh + S + V
5	彼に彼女の言っていることが理解	⑥ couldn't / ①	名詞節 what	S + 助動詞 + V + what + S

No	日本語	正答	文法ポイント	型のまとめ
	できなかった。	she		+V